

令和3年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

(令和2年度実施事業分)

令和4年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和2年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

令和4年2月10日

田原本町教育委員会

## 目 次

○はじめに	1
○教育委員会の運営・活動状況	2
○点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	3
・ 小・中学校教育の推進	5
・ 特別支援教育の推進	7
・ 学習体制の充実	9
・ 生涯学習環境の充実	11
・ 図書館事業の充実	13
・ 文化活動の促進	15
・ スポーツに親しむ環境の整備	17
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	19
・ 文化財保護事業	21
・ 唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	23
・ 唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	25

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

## II 点検・評価の基本方針

### 1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第4次総合計画」基本目標1「子育ての願いをかなえるまちづくり」及び基本目標2「潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、令和2年度です。

- (1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況
- (2) 「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(12施策)

### 3 点検・評価の方法

「田原本町第4次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行っています。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

#### 【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	小林 祥孝	教職経験者
委 員	東口 豪	行政経験者

## 田原本町教育委員会の運営・活動状況

### 1 教育委員

(令和3年3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
教育長	植島 幹雄	公務員	R2. 4. 1	R5. 3. 31
委員	吉川 眞司	会社員	H28. 3. 18	R3. 12. 23
委員	岡本 春江	無職	R1. 9. 22	R5. 9. 21
委員	榭井 歌世	教員	R1. 12. 22	R5. 12. 21
委員	眞田 和則	会社員	R2. 12. 23	R6. 12. 22

### 2 教育委員会議の開催状況

- ・教育委員会定例会……10回
- ・教育委員会臨時会……4回

### 3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……33件
- ・審議事項……23件

### 4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園4園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加なし(通常時は、入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等に参加)
- ・各種研修会への参加……令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加なし(通常時は、近畿市町村教育委員研修大会・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等に参加)
- ・各種行事への参加……成人式等

## 施策評価シート(対象: R2年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進			総合計画位置づけ	1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす 成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、遊びを通じた総合的な学びを小学校での教科等の学びに円滑に接続するため、幼児教育と小学校教育の連携を推進する。
施策概要	基礎を培う乳幼児期における教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。保護者ニーズに対応するための預かり保育の実施等幼児教育の支援。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単 位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公立・私立幼稚園就園率	%	58	60	62	64	66
		対象年齢者に対する公立幼稚園の園児在籍率	46	—	—	—
② 保育園・小学校との連携回数	回	70	73	73	73	73
		合同運動会や音楽鑑賞会等 交流・連携回数	33 <small>(コロナ禍のため 実施回数大幅減)</small>	—	—	—
③ 預かり保育利用園児の1日 平均利用園児数	人	22	23	23	24	24
		預かり保育利用園児の1日平 均利用園児数	9	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	213,424	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	131,160	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	—	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		344,584			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標 (R3) 達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標 (R3) 達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 公立幼稚園の就園率は、約46%と目標値を下回っているが、認定こども園化や幼稚園型一時預かり保育事業のさらなる充実を図り、最終目標を達成したいと考えている。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 今後も、地域の子育てに対して、町立幼稚園が果たすべき役割が大きくなると予想される。保護者に対しては、子育てへの悩みを解決に導くためにも、個々に応じたよりきめ細かな支援が必要である。また、子どもたちに対しても、幼稚園ならではの多様な学びの場を提供するとともに、幼稚園から小学校へ切れ目のない教育連携を行うことが大切である。地域や家庭の実態に応じた総合的な子育て支援を行い、地域に開かれた幼稚園づくりを推進する必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 特に、小学校教育との円滑な接続及び幼稚園施設の老朽化について、課題が残る。幼小連携については、どの校区においても同様にきめ細かな接続を行うことが重要であるが、ややバラツキがみられる。また、施設の老朽化については、予算等の制約もあり、直ちに解消することが難しい。 また、就労する女性の割合が高くなり、長時間保育の必要性が増している。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 現状の水準を維持する )				
(説明)	幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであると認識の下、地域や家庭と連携し、さらなる幼児教育の充実を図る。また、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を進めるとともに、安心・安全な環境で幼稚園教育を行えるよう、施設面の修繕や保全に努める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	幼稚園運営事業(一部)	213,424	292,296	3	現状のまま
	幼稚園施設管理整備事業	131,160	5,513	3	現状のまま
	幼稚園教育振興事業	-	-	3	現状のまま
	<b>【新規】</b>	-	-		-
		-	-		-
	計	344,584	297,809		
内部評価のコメント	幼児教育の今日的課題として、幼児教育を構成する家庭や地域社会の教育力の低下が指摘されており、子どもの育ちに変化を及ぼしている。このため、幼稚園が中核となって家庭や地域社会の教育力を向上させていくとともに、幼児教育と小学校教育との接続など幼稚園の教育機能の一層の充実を図ることが必要である。 幼稚園型一時預かり保育事業については、長期休業中においても実施するなど実施日を拡大し、保護者のニーズに対応している。加えて、就労する保護者のニーズに応えるため、田原本幼稚園の認定こども園化についても準備を進めている。				
外部評価委員のコメント	幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、よりよい教育環境の創造に向け努めていただきたい。また、女性の社会進出が進む中、幼稚園教育の充実を図りながら長時間の教育・保育を可能とする認定こども園化の準備を進めていただきたい。さらには、園児の減少や施設の老朽化なども踏まえ、幼稚園の再配置についても検討していただきたい。				

## 施策評価シート(対象: R2年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	1-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

### 1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒に確かな学力、豊かな人間性及びたくましい心身の育成を図るとともに、教育環境の維持・向上を図り、誰もが安全で安心できる学校を実現する。
施策概要	学ぶ力と意欲を伸ばし、豊かな人間性を育む学校教育の推進。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 「学校は楽しい」と回答した児童の割合 各小学校実施の「学校評価アンケート」	%	96	98	99	100	100
		- (コロナ禍のためアンケート実施なし)	—	—	—	—
② 「学校は楽しい」と回答した生徒の割合 各中学校実施の「学校評価アンケート」	%	84	86	88	90	92
		- (コロナ禍のためアンケート実施なし)	—	—	—	—
③ 学力向上に資するICT環境の整備 ICT機器(タブレット)を整備した小学校	校	7	7	7	7	7
		- (コロナ禍のためアンケート実施なし)	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
小学校運営事業	教育総務課	178,664	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	84,393	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	244,406	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	12,196	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	3,505	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	78,647	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	30,385	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	5,426	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	6,630	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	教育総務課	11,146	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		655,398			



### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい 児童・生徒の確かな学力の育成に向け、特に基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得を図る取組を推進している。今後も協働的な学習を行うが、校内高速無線LANの整備及び1人1台のタブレット端末の購入が完了したことから、個別最適化した学習をさらに充実させていきたいと考える。また、児童生徒に対しては、引き続いてきめ細かな教育を行い、不登校の未然防止・減少にもつなげていきたい。令和元年9月からは、念願の中学校給食がスタートし、子どもたちが必要な栄養バランスを整えるとともに、保護者の負担軽減にも役立っている。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 基礎学力の向上やいじめ・不登校の抑止、学校施設の老朽化対策、食育に関わる地産地消や食物アレルギーへの対策等について、今後もさらに推進する必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 子どもの学習意欲を向上させること、また、生活習慣の未確立、規範意識や体力の低下等に対応するための学校・家庭・地域の連携が課題である。学校施設の老朽化とともに、児童生徒の減少に伴う適正な教育環境の維持についても課題である。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ) (説明) これからの社会においては、主体的に考え、情報を総合化して判断・表現し、行動する力を備えた自立した社会人の育成がますます重要となる。児童生徒には、基礎学力・基本的な知識・技能を徹底して身に付けさせるとともに、自ら学び自ら考える力などの「確かな学力」を育成し、あわせて「生きる力」を育むことができるよう、教育内容や教育環境の整備に努める。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度決算(千円)	R3年度予算(千円)	優先性	R3に向けた経営資源(事業費)の方向性
	小学校運営事業	178,664	117,109	3	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	84,393	35,671	4	現状のまま
	学校給食事業	244,406	279,089	3	現状のまま
	小学校教育振興事業(一部)	12,196	13,227	3	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	3,505	8,173	3	現状のまま
	中学校運営事業	78,647	53,729	3	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	30,385	20,785	4	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	5,426	17,734	3	現状のまま
	中学校サポート体制支援事業(一部)	6,630	9,376	3	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	11,146	9,864	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	655,398	564,757		
内部評価のコメント	地域の避難所となる学校施設は耐震補強工事等の実施により、安心・安全な環境となっている。不登校児童生徒については、全教職員での情報の共有・関係機関との効果的な連携などを強化して、指導の徹底を図る必要がある。また、学校給食では食材の産地を公表するとともに地場産の野菜を給食に用いるなど地産地消を進め、美味しく安心・安全な提供に努めている。校内高速無線LANの整備が完了し、1人1台のタブレット端末についても完備したことから、ICT教育の更なる推進を目指したいと考えている。				
外部評価委員のコメント	校区別の将来人口推計なども踏まえながら、学校施設再配置を進められ、学校施設の老朽化対策について取り組んでいただきたい。また、ICT教育の推進についても大いに期待するところである。児童生徒の健全育成については、学校と家庭・地域及び関係機関等との連携やスクールカウンセラー・支援員の効果的な活用をお願いしたい。学校給食では、アレルギー対応等を含め、食材の安全に一層配慮しながら、地場産の食材を積極的に取り入れ、栄養のバランスのとれた美味しい給食を提供するなど、児童生徒の食に関する関心と理解を高めながら、学校から家庭への情報発信も進めていただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	特別支援教育の推進	総合計画位置づけ	1-2,1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)及び広汎性発達障害(PDD)等の幼児児童生徒の支援体制を整備し、インクルーシブ教育の推進を図る。
施策概要	幼児児童生徒の個々の発達に応じた適切な教育の推進、安心・安全な教育環境の整備、就学の支援、関係機関との連携。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 通級指導教室活用者数 通級指導教室を活用している 人数	人	26	27	28	29	30
		12	—	—	—	—
② 特別支援教育支援員の学 校配置数 特別支援教育支援員の幼 稚園・小学校・中学校への配置 数	人	38 (幼31・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)	23 (幼16・小5・中2)
		35 (幼24・小8・中3)	—	—	—	—
③			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	30,650	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	17,721	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	6,927	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
計		55,298			

### 3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標 (R3) 達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている  <input checked="" type="radio"/> B 最終目標 (R3) 達成に向け、順調に成果があがっている  <input type="radio"/> C このままでは、最終目標 (R3) 達成が難しい</p> <p>特別支援教育支援員の各幼稚園・小中学校への配置により、一人ひとりの子どもの特性に応じた教育の充実が図られている。このような特別支援教育の充実が、通級指導教室活用の増加につながっていることがうかがえる。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある  <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない  <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>近年、特別な支援を要する幼児児童生徒及び通常学級で個別の指導・支援を必要とする子どもが増加しており、一人ひとりの個性や発達、ニーズに応じた支援や特別支援教育の充実がますます求められている。</p>
<p>施策を進める上で の問題点・課題</p>	<p>(説明)          特別支援教育では、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が必要であり、校 (園) 内における支援員の配置及び家庭への経済的支援を行うための財源確保が必要である。全ての子どもたちが、能力や可能性を伸ばすことができる教育課程の充実が求められる。</p>

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 現状の水準を維持する )</p>																																																																										
<p>施策を構成する 主要な事務事業の方向性</p>	<p>(説明)              引き続き、特別な支援を必要とする子どもの個性や発達に応じた教育課程、教育的支援を図る人的措置及び家庭への経済的支援の充実を図る。</p> <table border="1" data-bbox="272 1133 1465 1715"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度 決算 (千円)</th> <th>R3年度 予算 (千円)</th> <th>優先性</th> <th>R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園運営事業(一部)</td> <td>30,650</td> <td>47,870</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>小学校サポート体制支援事業(一部)</td> <td>17,721</td> <td>14,139</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>中学校サポート体制支援事業(一部)</td> <td>6,927</td> <td>5,548</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>【新規】</b></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>計</b></td> <td><b>55,298</b></td> <td><b>67,557</b></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	幼稚園運営事業(一部)	30,650	47,870	3	現状のまま	小学校サポート体制支援事業(一部)	17,721	14,139	3	現状のまま	中学校サポート体制支援事業(一部)	6,927	5,548	3	現状のまま																																				<b>【新規】</b>										<b>計</b>	<b>55,298</b>	<b>67,557</b>		
	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																							
幼稚園運営事業(一部)	30,650	47,870	3	現状のまま																																																																							
小学校サポート体制支援事業(一部)	17,721	14,139	3	現状のまま																																																																							
中学校サポート体制支援事業(一部)	6,927	5,548	3	現状のまま																																																																							
<b>【新規】</b>																																																																											
<b>計</b>	<b>55,298</b>	<b>67,557</b>																																																																									
<p>内部評価の コメント</p>	<p>特別な支援を必要とする子どもに対しても、個性や発達に応じた支援が求められており、国の配置基準に基づく教職員数だけでは十分な支援が困難な状況にある。発達障害等と診断、あるいは、その疑いと診断された子ども等、特別な支援を必要とする子どもが増加している背景もあり、学校現場からは、特別支援教育に対する人的措置の要望が増加している。よって、特別支援教育の推進に向けた通級指導教室及び特別支援教育支援員配置の充実、支援員に対する研修等が必要である。</p>																																																																										
<p>外部評価委員 のコメント</p>	<p>特別な支援を必要とする子どもが増加傾向にあるなかで、子どもや保護者を取り巻く状況や学校へのニーズはますます複雑化・多様化している。通級指導教室や特別支援教育支援員の充実、子どもだけではなく保護者への支援につながるものであり、関係者や関係機関と十分に連携しながら進めていただきたい。今後も相談・支援体制の一層の充実に努め、誰もが相互に人格と個性を尊重し、人間の多様な在り方を認め合える共生社会の実現に資するインクルーシブ教育の推進に努めていただきたい。</p>																																																																										

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	学習体制の充実			総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	学びたい人が学びたい時に学べるよう、様々な学習の機会や情報を提供し、人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させることで地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。また、子どもを対象とする教室を開催する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	回	300	300	300	300	300
		(説明) 公民館学習・放課後子ども教室等の年間開催数	257	—	—	—
② 子ども文化教室の年間開催数	回	59	59	59	59	59
		(説明) 子ども文化教室の年間開催数	27	—	—	—
③ 子ども文化教室の年間参加者数	人	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		(説明) 子ども文化教室の年間参加者数	311	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
公民館学習事業	生涯教育課	3,843	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	7,261	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	2,555	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった	B:見直す余地があるが時間が必要
計		13,659			

### 3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている</p> <p><input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい</p> <p>(説明) 公民館学習講座や高齢者クラブ、放課後子ども教室は、新型コロナ感染拡大防止のため、すべて9月以降の開催となった。 料理教室・お菓子作り教室については食品を扱うため令和2年度は中止となっている。 開催にあたっては、マスク着用・検温などのコロナ対策を講じた上で実施している。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある</p> <p><input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない</p> <p><input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>(説明) 文化・芸術の体験、趣味や教養を深める講座等、生涯学習に関するニーズは高くなっている。 住民が自分にあった趣味や生きがいを見つけるだけでなく、共通の趣味を持つ仲間作りや人間関係を構築する場としても意義が大きい。</p>
<p>施策を進める上での 問題点・課題</p>	<p>(説明) 技術的な習得や作品の製作だけでなく、同じ趣味をもつ者との交流を目的にしている参加者も多い。コロナ対策を講じた上で、教室を継続していきたい。</p>

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>(説明) 参加者の固定化・高齢化がみられる。これまで参加してこなかった方が魅力を感じる教室を展開していく。</p>																																																																															
	<p>施策を構成する 主要な事務事業の方向性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>R2年度 決算 (千円)</th> <th>R3年度 予算 (千円)</th> <th>優先性</th> <th>R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公民館学習事業</td> <td>3,843</td> <td>4,559</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>青少年健全育成推進事業</td> <td>7,261</td> <td>18,162</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>人権教育指導事業</td> <td>2,555</td> <td>3,999</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,659</td> <td>26,720</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	公民館学習事業	3,843	4,559	3	現状のまま	青少年健全育成推進事業	7,261	18,162	4	現状のまま	人権教育指導事業	2,555	3,999	4	現状のまま																																									【新規】										計	13,659	26,720					
事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																												
公民館学習事業	3,843	4,559	3	現状のまま																																																																												
青少年健全育成推進事業	7,261	18,162	4	現状のまま																																																																												
人権教育指導事業	2,555	3,999	4	現状のまま																																																																												
【新規】																																																																																
計	13,659	26,720																																																																														
<p>内部評価の コメント</p>	<p>様々な教室や講座を開催しているが、継続して見直しを図る必要がある。 定員に対する参加者数等をふまえて、教室の見直しを続けていく。 また、検温・消毒などのコロナ対策を講じながら開催していく。</p>																																																																															
<p>外部評価委員の コメント</p>	<p>公民館学習は、多くの町民の方の文化活動に資するものである。 時代に合わせて、これまで開催してこなかった教室や講座を実施し、新規の参加者を募れるような工夫を粘り強くしていただきたい。 また、開催にあたっては、コロナ対策を適切に講じていただきたい。</p>																																																																															

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実	総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習活動が活性化する。
施策概要	田原本青垣生涯学習センターは、生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、環境整備を行う。また、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において、地域住民に開放する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 年間の公民館の利用件数  (説明) 年間の公民館の利用件数	回	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		2,647	—	—	—	—
② 小・中学校を住民に開放している年間件数  (説明) 小・中学校を住民に開放している年間件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		2,211	—	—	—	—
③  (説明)						
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
生涯学習センター管理事業	生涯教育課	76,453	A:高い(義務)	C:目標とする成果が得られなかった	B:見直す余地があるが時間が必要
計		76,453			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input checked="" type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい  (説明) 公民館利用件数は指標の目標を達しているが、学校開放件数は指標の目標を下回っている。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある  (説明) センターは町の講座や教室を開催するだけでなく、個人やサークル等が活動する拠点になっている。建築後15年以上経過し、修繕対象箇所が増えてきている。今後も生涯学習の場として機能するよう、青垣生涯学習センターの継続した管理・運営を行う。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 設備の取り換え時期の到来、劣化による修繕も発生しているため、施設の利用に支障が生じないよう適切に対応していく。 設備・備品の入れ替えや修繕については、優先順位を決めて計画的に進めていく。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (説明) 青垣生涯学習センターは、ホール、公民館、図書館、ミュージアム(文化財)の複合施設である。それぞれの施設が機能し、施設の利用、行政サービスに支障が生じないよう整備していく。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度決算(千円)	R3年度予算(千円)	優先性	R3に向けた経営資源(事業費)の方向性
	生涯学習センター管理事業	76,453	130,751	4優先性が高い	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	76,453	130,751		
内部評価のコメント	青垣生涯学習センターは生涯学習の中核となる施設である。建築後、15年以上経過し、設備等が古くなってきている。 耐用年数や更新時期を事前に把握し、継続した行政サービスを提供できるよう、計画的に更新または修繕していく。				
外部評価委員のコメント	多くの方が、生涯学習等の文化活動に関心をもち、センターを利用しています。 安定した施設利用ができるよう、修繕などの対応をするように努めていただきたい。 また、消毒液の設置や定期的な換気などのコロナ対策も継続的に講じていただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	3-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	市民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うとともに、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実を図る。
施策概要	郷土資料、視聴覚資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等と連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種イベントや広報活動を行い、利用の促進を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 蔵書冊数	冊	204,000	205,000	214,000	215,000	216,000
		年度末の蔵書冊数	213,263	—	—	—
② 児童書の貸出冊数	冊	155,800	156,400	14,000	14,000	14,000
		年間の個人・団体・相互貸借された児童書の貸出冊数	134,256	—	—	—
③ 町内実質登録者数	人	6,100	6,100	5,000	5,000	5,000
		1年間で実際に貸出された町内の利用者数	3,889	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
図書館収集提供事業	図書館	20,195	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	54	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	8,902	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		29,151			



### 3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい
	(説明) 貸出数・登録者数ともに目標に達していない。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年2月まで図書館サービスを縮小(臨時休館・利用制限・開館時間の短縮等)していた影響が大きい。令和元年度に引き続き令和2年度も、児童書の貸出冊数が県内の町立図書館内で第一位であった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある
	(説明) コロナ以前と比べると、平日に図書館を利用する人の数がかかなり減少している。祝休日はあまり減少しておらず、多数の人が図書館を利用している。幼稚園・学校からの団体貸出や図書室支援の申し込みが増加している。また、テレワークやオンライン授業の広がりを受け、勉強や仕事をするための場所として図書館を利用したいという要望が急増している。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 時間帯別や曜日別の利用状況を研究し、実情に応じたカウンター業務の在り方を検討する必要がある。感染症対策と図書館サービスをどのように両立していくか検討する必要がある。また、増加している学校図書室支援の要望に対応できるようにするため、職員の確保と育成が課題である。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	<input type="checkbox"/> 〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( )																																																	
	(説明) 利用者に安心して図書館を利用してもらえるよう、引き続き感染症対策を徹底する。また、パーティションを設置し、利用できる座席数を増やす。自動貸出機の利用促進やカウンター業務の見直しを行い、効率的な図書館運営を目指す。																																																	
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>R2年度 決算 (千円)</th> <th>R3年度 予算 (千円)</th> <th>優先性</th> <th>R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館収集提供事業</td> <td>20,195</td> <td>20,676</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>子ども読書活動推進事業</td> <td>54</td> <td>86</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>図書館利用促進事業</td> <td>0</td> <td>115</td> <td>3</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>図書館運営管理事業</td> <td>8,902</td> <td>7,177</td> <td>4</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td>—</td> <td>—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,151</td> <td>28,054</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	図書館収集提供事業	20,195	20,676	4	現状のまま	子ども読書活動推進事業	54	86	3	現状のまま	図書館利用促進事業	0	115	3	現状のまま	図書館運営管理事業	8,902	7,177	4	現状のまま											【新規】	—	—		—	計	29,151	28,054						
	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																													
	図書館収集提供事業	20,195	20,676	4	現状のまま																																													
	子ども読書活動推進事業	54	86	3	現状のまま																																													
	図書館利用促進事業	0	115	3	現状のまま																																													
	図書館運営管理事業	8,902	7,177	4	現状のまま																																													
【新規】	—	—		—																																														
計	29,151	28,054																																																
内部評価のコメント	臨時休館などの影響で貸出冊数が減少しているものの、県内の町立図書館の中では、最もたくさん利用されている図書館である。しかしながら、コロナをきっかけに図書館を利用しなくなった方も多し。今後は、そういった方々に、再び図書館を利用してみようと思っただけのよう、安全で魅力的な図書館運営を目指す。学校支援は好評のため、今後も継続して職員の派遣を行う。さらに多くの学校から支援の要望が挙がっているが、対応できる能力のある職員の数が必要でない。図書館運営に影響が出ない形で学校からの要望に応えられるよう、職員の確保と育成が必要である。																																																	
外部評価委員のコメント	学校サービスと公共サービスのバランスをとりながら適切な図書館運営ができるように、図書館内でも効率的な職員配置を行ってほしい。コロナ感染症対策でサービスの停止を行った際に、本当に必要な図書館サービスが何なのか見えてくるものもあると思う。評判の良い図書館を運営・維持していくには司書の経験や知識は不可欠なものなので、職員のモチベーションが持続できるようアフターコロナを見据え、事業展開を行っていただきたい。																																																	

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の里ホールの利用促進を図り、住民が多様な文化・芸術に触れられる機会を提供する。
施策概要	弥生の里ホールでは、質の高いイベントを開催する。また、文化団体や社会教育関係団体の文化に関わる活動を支援し、日頃の文化活動の発表の場として文化祭を開催する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 弥生の里ホール年間利用 件数	件	240	240	240	240	240
		(説明) 弥生の里ホール年間利用件 数	285	—	—	—
②						
		(説明)		—	—	—
③						
		(説明)		—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化活動推進事業	生涯教育課	2,635	B:普通	C:目標とする成果 が得られなかった	B:見直す余地がある が時間が必要
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	391	B:普通	C:目標とする成果 が得られなかった	B:見直す余地が あるが時間が必要
計		3,026			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input checked="" type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい  (説明) ホールの利用件数が目標の指標を超え、順調に成果があがっている。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある  より質の高い芸術や芸能等のホール事業を開催し、幅広い世代の方に楽しんでいただけるイベントを提供する。文化祭は、学習の成果を発表し、他の人の作品や活動にふれる場でもあり、仲間との人間関係を育む場でもある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) ホール事業については開催経費を抑制するため、NHKや自治振興センター(宝くじ事業)などの事業を優先的に検討する。 ホール事業、文化祭等の各種イベントについては、ウェブの活用も含め幅広い周知に努めていきたい。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (説明) 予算の範囲内で、より充実したホール事業を展開する。 ホール事業は多人数を集めることになるため、コロナ対策として、事前申し込み・座席指定・定員指定(総座席800のうち半数の約400人弱)により開催していく。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	文化活動推進事業	2,635	4,916	3 普通	現状のまま
	弥生の里ホール運営事業	391	4,966	3 普通	現状のまま
	計	3,026	9,882		
内部評価のコメント	ホール事業については、内容だけでなく、開催時期についても偏りがないようにする。 文化祭の展示作品をホームページの掲載にするなど、イベントの周知に努める。 イベントや事業は多くの方が集まるため、コロナ対策を講じながら開催していく。				
外部評価委員のコメント	ホール事業や文化祭は、より多くの方に楽しんでいただけるよう事業内容・周知方法について工夫し、費用対効果の視点も併せて検討していただきたい。 また、開催にあたってはコロナ対策を講じていただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

#### 1. 施策概要

めざす 成果目的	体育施設の維持管理に努め、住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるようにする。
施策概要	住民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		(説明) 中央体育館、やすらぎ体育館の年間利用件数	2,443	—	—	—
② テニスコートの年間利用件数	件	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		(説明) テニスコートの年間利用件数	1,678	—	—	—
③ 健民運動場の年間利用件数	件	250	250	250	250	250
		(説明) 健民運動場の年間利用件数	284	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
体育施設管理事業	生涯教育課	65,521	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		65,521			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい  (説明) テニスコート及び運動場の利用件数は、目標の指標を超えているが、体育館は、新型コロナの影響もあり、目標の指標を下回った。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある  (説明) 施設が老朽化しているため、計画的に点検や改修を行い、安全で快適にスポーツを楽しむことのできる環境を整える。 消毒液の設置等、新型コロナ感染対策を講じながら管理運営を進めていく。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 健康管理や体を動かすことについて、これまで以上に住民の意識が高くなっている。 多くの方に安全に施設を利用していただけよう、必要な修繕を進める。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 (    ) (説明) 体育施設を適切に管理・運営し、利用者が安全・快適に施設を利用できるよう努める。 消毒液の設置など、新型コロナ感染対策を講じながら、管理運営を行う。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	体育施設管理事業	65,521	22,456	4	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	65,521	22,456		
内部評価のコメント	新型コロナの影響もあり、利用件数は減少しているが、体育施設は、多くの個人・団体が利用する場所である。 適切に施設の維持管理ができるよう、改修する箇所の優先順位を検討し、計画的に改修を行う。				
外部評価委員のコメント	利用者が安心してスポーツやイベント等を楽しめるよう、修繕箇所の優先順位、コロナ対策に留意し、体育施設の管理・運営に努めていただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が、多種多様なスポーツに親しめるよう、関係機関と連携し、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにする。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や春・秋の総合競技大会、町民マラソン・駅伝大会を開催する。また、親子バレーボール大会や歩こう会を開催し、体育協会、スポーツ少年団への助成を行う。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① テニス・ジュニアサッカー等の年間教室開催数  (説明) テニス・ジュニアサッカー等の年間教室開催数	回	250	250	250	250	250
		235	—	—	—	—
② 健康スポーツの集いの年間開催回数  (説明) 健康スポーツの集いの年間開催回数	回	2	2	2	2	2
		1	—	—	—	—
③ 健康スポーツの集いの参加者数  (説明) 健康スポーツの集いの参加者数	人	60	60	60	60	60
		55	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
社会体育振興事業	生涯教育課	3,585	B:普通	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった
スポーツ教室開催事業	生涯教育課	6,338	B:普通	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった
春・秋総合競技大会開催事業	生涯教育課	966	B:普通	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった
マラソン・駅伝大会開催事業	生涯教育課	5	B:普通	B:普通	C:目標とする成果が得られなかった
計		10,894			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input checked="" type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい  (説明) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スポーツ教室は9月からの開講し、3月の健康スポーツの集いは開催を中止した。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある  (説明) 住民の健康志向は高く、スポーツに参加することは、体力づくり・健康づくりに効果が期待できる。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 講師の方のフェイスガードの着用、参加者の消毒・検温などの対策を講じながら事業を開催する。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( )  (説明) スポーツの技術的な向上や健康増進だけでなく、コミュニケーションの場としての機能も果たしている。新型コロナウイルス感染対策を講じながら、事業を継続していきたい。																																																																																	
施策を構成する主要な事務事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事務事業名</th> <th>R2年度決算 (千円)</th> <th>R3年度予算 (千円)</th> <th>優先性</th> <th>R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会体育振興事業</td> <td>3,585</td> <td>13,208</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>スポーツ教室開催事業</td> <td>6,338</td> <td>6,505</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>春・秋総合競技大会開催事業</td> <td>966</td> <td>1,112</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td>マラソン・駅伝大会開催事業</td> <td>5</td> <td>1,245</td> <td>3 普通</td> <td>現状のまま</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>【新規】</td> <td>—</td> <td>—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>—</td> <td>—</td> <td> </td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,894</td> <td>22,070</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事務事業名	R2年度決算 (千円)	R3年度予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性	社会体育振興事業	3,585	13,208	3 普通	現状のまま	スポーツ教室開催事業	6,338	6,505	3 普通	現状のまま	春・秋総合競技大会開催事業	966	1,112	3 普通	現状のまま	マラソン・駅伝大会開催事業	5	1,245	3 普通	現状のまま																																									【新規】	—	—		—		—	—		—	計	10,894	22,070			
事務事業名	R2年度決算 (千円)	R3年度予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性																																																																														
社会体育振興事業	3,585	13,208	3 普通	現状のまま																																																																														
スポーツ教室開催事業	6,338	6,505	3 普通	現状のまま																																																																														
春・秋総合競技大会開催事業	966	1,112	3 普通	現状のまま																																																																														
マラソン・駅伝大会開催事業	5	1,245	3 普通	現状のまま																																																																														
【新規】	—	—		—																																																																														
	—	—		—																																																																														
計	10,894	22,070																																																																																
内部評価のコメント	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業が増えている。実施にあたっては、コロナ感染対策を講じながら開催している。																																																																																	
外部評価委員のコメント	体力向上や健康の増進等、健康志向が益々高まっています。コロナ対策を講じながら、安心して参加できるスポーツ教室や競技会を開催していただきたい。																																																																																	

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	文化財保護事業	総合計画位置づけ	2-4-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	文化財保護の精神と認識を深め、国・県・町指定の有形文化財及び史跡を後世まで貴重な財産として残す。
施策概要	唐古・鍵遺跡と黒田大塚古墳内の公有地の管理及び史跡の現状変更等、進達業務。その他国・県・町指定文化財所有者に防犯、防災の指導。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 町文化財指定件数(累計)	件	9	10	11	12	13
		9	—	—	—	—
②			—	—	—	—
			—	—	—	—
③			—	—	—	—
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
文化財保護事業	文化財保存課	6,335	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		6,335			



### 3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい
	各所有者に対しては、連絡を密にして防災・防犯状況の確認などをおこなった。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input checked="" type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある
	後世に本町の財産を継承していくため、所有者には文化財の維持管理に注意を払ってもらい、常に防災・防犯意識をもっていただく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	地域の財産である文化財であり、その地域の方の防災・防犯の意識を高めていくよう周知していかなければならない。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	(説明) 文化財の適切な管理を行うため、引き続き所有者と連絡を密におこない、管理上の問題点を把握していく。事業によっては補助金を交付する。 町指定文化財について、次年度中に指定案件を選定し、1件指定する。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	文化財保護事業	6,335	10,115	4	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	6,335	10,115		—
内部評価のコメント	町内の貴重な文化財を後世に伝えるため、調査と指定を進めていく。引き続き防災・防犯の普及活動を推進する。				
外部評価委員のコメント	遺跡や寺社等、文化財は多岐にわたるが、町の財産をより良い状態で将来に残せるよう、文化財指定ができる物件の調査を進め、引き続き防災・防犯等の保護に努めていただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	総合計画位置づけ	3-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	弥生の追体験ができる公園として、またより多くの来園者に親しまれる憩いの場、コミュニティの場として賑わいのある活用事業を推進する。
施策概要	賑わい創出の場としてイベントを開催する。また、小・中学校の学習の場として活用する。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵遺跡史跡公園年間来園者数	人	40,000	45,000	90,000	90,000	90,000
		69,342	—	—	—	—
②						
			—	—	—	—
③						
			—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	文化財保存課	42,147	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	C:見直す余地がない
計		42,147			

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input checked="" type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい  4・5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休園となったが、その後、感染症対策を講じながらイベントを開催することができたため、目標数値を上回ることができた。史跡公園開園以来多くの来園者で賑わい、目標を上回る成果を上げることができた。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある  歴史教育の場としての活用だけでなく、様々なイベントの会場としての活用が進んでおり、今後もニーズが多様化していくと想定される。また、他府県からの修学旅行や他市町村の校外学習による来園者も増加傾向にあり、奈良盆地の弥生時代について知っていただくためにどのようなことができるのかを常に検討していく必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	指定管理者と協力して来園者が安全に公園を訪れることができるよう配慮する。

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

施策の方向性	〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input type="checkbox"/> その他 (                      ) (説明) 来園者満足度を高めるため、指定管理者とともにボランティアの支援や育成に努める。また、指定管理者に対しより多くの人々に来園していただけるよう助言を行う。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	R2年度 決算 (千円)	R3年度 予算 (千円)	優先性	R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性
	唐古・鍵遺跡史跡公園運営事業	42,147	47,705	4	現状のまま
	【新規】	—	—		—
	計	42,147	47,705		
内部評価のコメント	公園開園3年目も目標を上回る実績が上げられた。一過性とならないよう、引き続き指定管理者との協力体制により賑わいのある施設となるよう事業を進めていく必要がある。				
外部評価委員のコメント	来園者がリピーターとなっていただけるよう、魅力的な公園づくりを推進していただきたい。				

### 施策評価シート(対象:R2年度実施施策)

施策名	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

#### 1. 施策概要

めざす成果目的	ミュージアムの来館者が快適に観覧でき、満足していただけるようにする。また、文化財に対する理解・愛着を深め、学習意欲・愛護精神を育成する。
施策概要	ミュージアムの適切な管理や受付業務を行う。イベントや企画展、講座等を開催し、情報発信を行う。

#### 2. 実施結果

指標名 説明	単位	R2年度	前期基本計画目標 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵考古学ミュージアム年間来館者数	人	12,000	12,000	6,000	6,000	6,000
		5,741	—	—	—	—
② 唐古・鍵遺跡に対する理解が深まったと答えた小学生の割合	%	75	75	/	/	/
		— (コロナ禍のためアンケート実施なし)	—	—	—	—
③ 唐古・鍵考古学ミュージアムのウェブサイト年間アクセス数	件	17,000	17,000	18,000	18,000	18,000
		17,803	—	—	—	—

#### 施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度R2年度)

事務事業名	担当課名	R2年度事業費 (決算額)(千円)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法 の点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	1,978	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		1,978			

### 3. 施策の分析

<p>達成度 (目標の達成状況はどうか)</p>	<p><input type="radio"/> A 最終目標(R3)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている  <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(R3)達成に向け、順調に成果があがっている  <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(R3)達成が難しい</p> <p>ホームページ閲覧数は目標値をこえることができた。また、来館者数は、常設展来館者数と企画展来館者数の合計値としている。令和2年度4・5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館となったが、新たなワークシートの作成やYouTube動画の配信などの情報発信をおこなった。その後は、対策を講じながら事業をおこなった。校外学習等での利用も増加しており、今後このような利用を促進したい。</p>
<p>必要性 (ニーズは今後どう変化するか)</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある  <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない  <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある</p> <p>史跡公園と一体として運用することで、「弥生時代の本物」にふれることができる。今後、町内小学校の総合学習だけでなく、他市町村や他県の来訪者にとって奈良盆地の弥生時代を体感する場としていく。</p>
<p>施策を進める上での問題点・課題</p>	<p>ミュージアムと離れた位置にある史跡公園・道の駅の指定管理者と連携した事業展開と広報が課題である。各施設がもつ性格の違いを明確に住民へ伝えられるかも課題として挙げられる。</p>

### 4. 次年度の展開方針〔部としての判断〕

<p>施策の方向性</p>	<p>〔複数選択可〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化して推進    <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進    <input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>(説明)  より多くの人々に来館していただけるようなイベント・企画展を開催する。また、今後の需要が見込まれるインバウンドも視野に入れた事業展開を行う。</p>				
<p>施策を構成する主要な事務事業の方向性</p>	<p>事務事業名</p> <p>唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業</p>          <p>【新規】</p> <p>計</p>	<p>R2年度 決算 (千円)</p> <p>1,978</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>1,978</p>	<p>R3年度 予算 (千円)</p> <p>2,760</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>2,760</p>	<p>優先性</p> <p>4</p>	<p>R3に向けた 経営資源(事業費)の 方向性</p> <p>拡大</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>内部評価のコメント</p>	<p>展示品の多くが国の重要文化財に指定されたのを受け、適切な展示品の維持管理を行うとともに、周知を行っていく。インバウンド事業や地域の子供たちに対するイベント等により新規の来館者増へつなげ、また定期的な講座の開催によりリピーターを獲得する。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止につとめながら事業を展開することになるが、Webを活用した情報発信などの手段を講じていきたい。</p>				
<p>外部評価委員のコメント</p>	<p>HP閲覧数が多いことから、興味・関心は高いといえる。最新の研究結果を踏まえ、ミュージアムへ足を運んでいただけるよう、引き続き公園との連携やPRなど、事業を進めていただきたい。</p>				